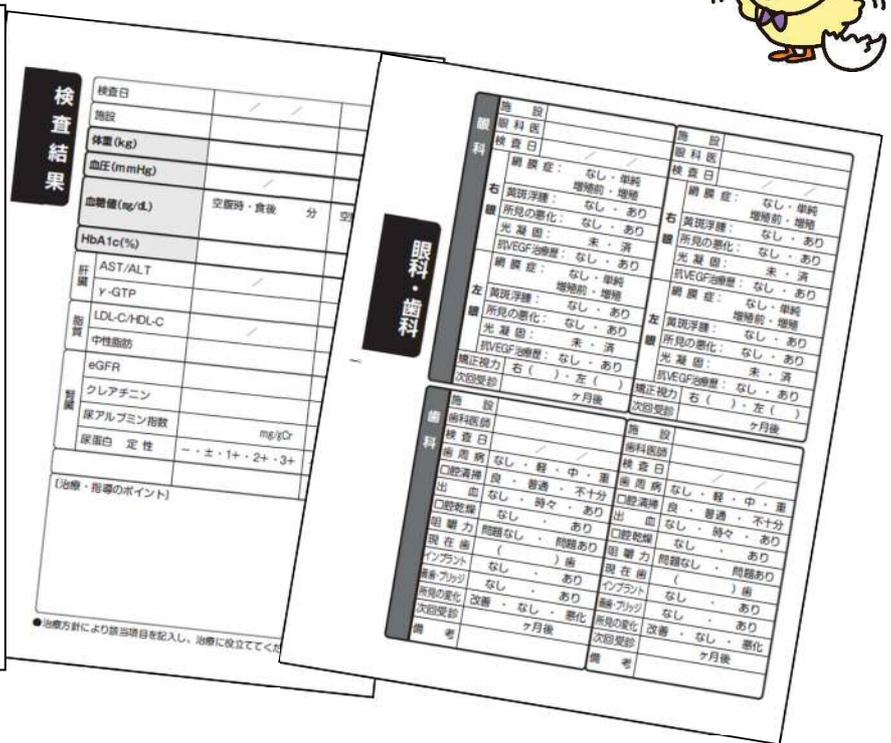
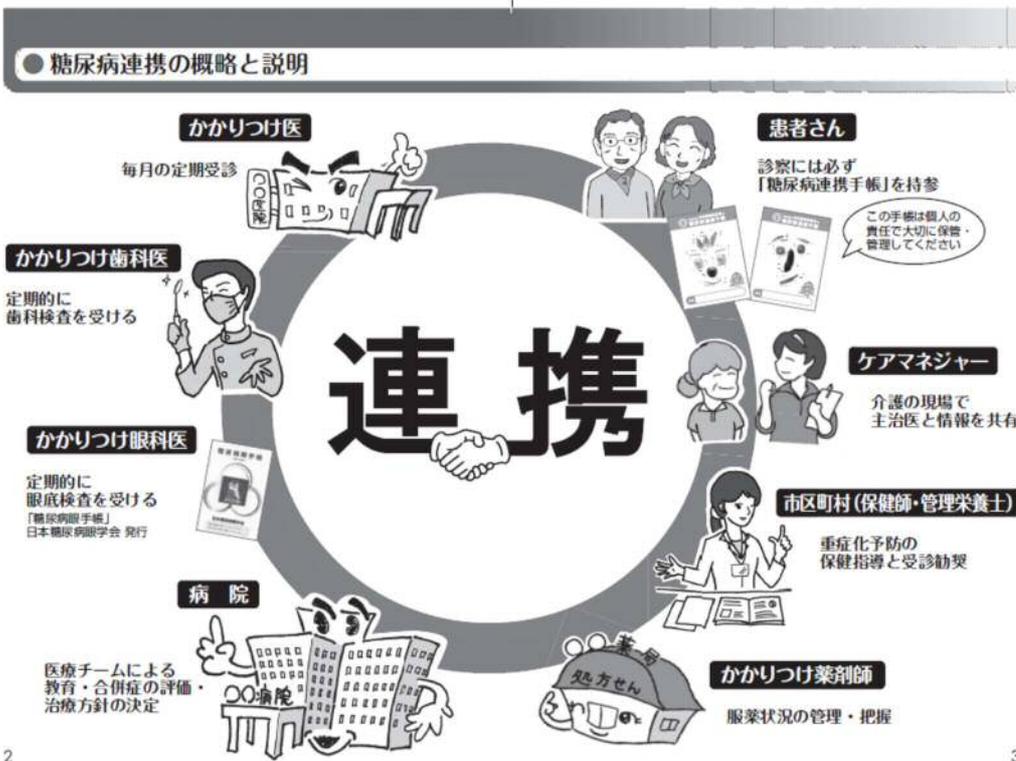


「糖尿病連携手帳」を携帯しましょう



発行元：日本糖尿病協会

<https://www.nittokyo.or.jp>



この手帳を活用することで、糖尿病や合併症に関する受診の情報（検査値・処方薬等）や身体の状態変化がこの手帳一つにまとまるので、治療や健康管理に役立ちます。

※糖尿病連携手帳をお持ちでない方はかかりつけ医またはかかりつけ薬剤師にご相談ください。

糖尿病連携手帳の活用の方法

- ① 病院受診の際は、必ず手帳を持参しましょう。
- ② 専門職※に検査結果やコメントを記入してもらいましょう。
- ③ 記録を振り返り、生活習慣改善や治療に活用しましょう。



治療や生活習慣改善など、各専門職※が連携して見守り、サポートします。



※専門職とは

かかりつけ医・糖尿病専門医・眼科医・歯科医・薬剤師・看護師・保健師・管理栄養士など

糖尿病連携手帳は

「持ち歩く 自分の健康管理手帳」

【手帳を使うメリット】

- ・手帳を通してあなたと各種専門職が情報共有するだけでなく、受診先の専門職が手帳記載データを活用して、サポートします。
- ・あなたの生活に合わせた治療や生活改善を可能にします。重症化を予防して、合併症を防ぎます。
- ・万が一の災害、旅行などの外出時にあなたの大事な

健康管理手帳になります。



《糖尿病を重症化させないために》

- ① 年1回の健診（特定・後期高齢者医療）を受けましょう。
- ② 継続したかかりつけ医への受診に加え、定期的に、眼科・歯科医を受診しましょう。
(眼科・歯科医は、受診の指示がなくても6か月～1年に1回は受診しましょう。)
- ③ 自己判断で治療の中止をしないでください（治療の中断は非常に危険です）。
- ④ 専門職の支援を積極的に活用しましょう。